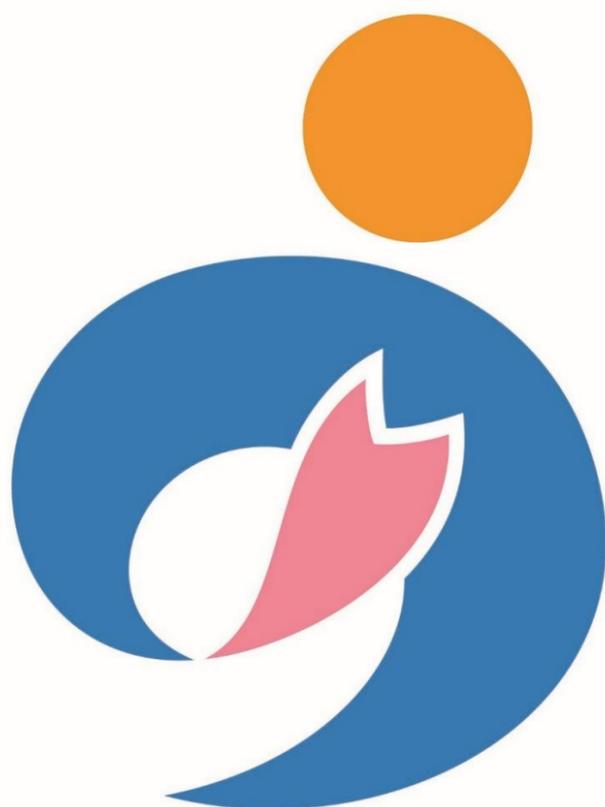


令和8年3月補正 予算事業説明書



人権・社会教育課



款	3	民生費	項	4	人権対策費	目	2	隣保館費	会計名	一般会計
事業名	2-3	西伯文化会館運営事業						所属名	人権・社会教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町民						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解消を目指し、誰もが幸せで安心して暮らせる町づくりを目指す。						③人権尊重社会の実現		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地区内外の人権意識の向上。 生活弱者の支援、施策の情報提供。 人権教育のリーダー育成。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ①くらしに挑戦(安全すこやかに暮らすまち)		
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等				
		2,301 千円	△ 351 千円	1,950 千円		南部町隣保館条例				

【提案理由】

事業の実施見込みにより、不用額を減額する。

【事業内容】

- 地区内の保・小・中・高・成人を対象とした学習、研修を通して自尊感情を高め自立を促す。
- 南部町内外の方々(県外含む)への啓発・学習・広報を通じて同和問題をはじめとする差別問題の理解・解消を目指す事業を行う。

【状況】

解放まつりの講演をDVD上映としたことなどにより、予定額よりも謝金が少なく事業を実施することができた。
光熱水費が見込み額に対し、少額となった。

【対応策】

不用額を減額する。

単位:円

節	予算額	支出見込額	残額見込み
報酬	293,000	150,000	143,000
需用費	962,000	754,000	208,000

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-2-6	隣保館運営補助金	633	0	1 報酬	293	△ 143
				8 旅費	31	0
				10 需用費	962	△ 208
				11 役務費	121	0
				12 委託料	350	0
				13 使用料及び賃借料	364	0
				15 原材料費	10	0
				17 備品購入費	100	0
				18 負担金補助及び交付金	70	0
	一般財源	1,668	△ 351			
	計	2,301	△ 351	計	2,301	△ 351

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

各種事業の実施や、気軽に使用できる拠点施設の提供をすることで、安心して暮らせる地域づくりを行うことができた。
減額補正することにより、予算の適正管理及び適切な施設運営につながる。

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	同和教育振興費	会計名	一般会計
事業名	1	進学奨励金支給事業							所属名	人権・社会教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	①同和地区で進学が困難な町内の生徒及び学生 ②経済的理由で進学が困難な町内の生徒及び学生						総合計画における位置づけ ③人権尊重社会の実現		
	意図 (対象をどうするか)	奨学金を支給することにより、卒業までの支援の行い、差別等に負けない力の育成と進学の手助けを保障している。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ③環境に挑戦(環境と共生のまち)		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	部落差別の解消、人権尊重社会の実現に向けた行政の姿勢を明確にするとともに、進学・通学への支援を行うことで、差別に負けない力の育成への支援ができる。						根拠法令・要綱等 南部町における部落差別はじめあらゆる差別をなくす条例 南部町進学奨励金交付要綱		
予算状況		補正前の額	補正額	計						
		4,730 千円	△ 1,428 千円	3,302 千円						

【提案理由】

事業の実施見込みにより、不用額を減額する。

【事業内容】

同和地区及び経済的理由で進学に困難を抱えている町内の高校生・大学生等を対象に奨学金の支給を行う。

高校生 6,000円/月
大学生等 10,000円/月

【状況】

見込んでいた人数よりも交付決定者が少なかったことにより、支出額が減少し、不用額が生じた。

内訳

見込み人数 → 交付決定者数
高校生 31人 19人
大学生等 23人 16人

【対応策】

不用額を減額する。

単位:円

節	予算額	支出見込額	残額見込み
負担金補助及び交付金	4,716,000	3,288,000	1,428,000

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
				11 役務費	14	0
				18 負担金補助及び交付金	4,716	△ 1,428
	一般財源	4,730	△ 1,428			
	計	4,730	△ 1,428	計	4,730	△ 1,428

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

同和地区及び経済的理由で進学に困難を抱えている町内の高校生・大学生等に対して、支援を行うことで、差別に負けない力の育成と進学の手助けの補償をすることができた。減額補正をすることにより、予算の適正管理につながる。